

令和7年度 第1回 福島市地域公共交通活性化協議会

議 事 概 要

日時：令和7年6月26日（木）15時00分～
会場：福島市役所 複合棟312会議室

1 開 会

2 議 事

（1）報 告

①令和6年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料1

・事務局より資料1に基づき報告

«意見・質問等なし»

②令和6年度決算報告及び会計監査報告・・・・・・・・ 資料2

・事務局より資料2に基づき報告

・幹事より監査結果を報告

«意見・質問等なし»

«全会一致で承認»

③路線バス医大松川線の利用状況について・・・・・・・・ 資料3

・事務局より資料3に基づき報告

（会長）

・事務局からの説明について、福島交通さんから補足あるか。

（委員）福島交通（株）

・朝の時間帯と最終便は非常に乗車率が多いので、両方で聞き取りやアンケートの用紙をお客様に書いていただく形で実施した。

・毎年4月に医科大学で定期券の出張販売を実施しており、その中で医新路線の経路と時間など情報を出していたが、例年に比べて、朝方は松川から医大の方に定期券を買われるけど、帰りの時間に関しては医大から福島駅方面に買われているお客様が多かった印象。

・帰りの時間が合わないというところで、授業が早く終わった学生さんで金谷川駅まで歩いている方が数名いたと聞いている。

（会長）

・アンケートで「金谷川駅がよかったです」という意見が2番目に多いが、この理由はなにか。

・ダイヤ改正案で新設となる松川駅発が9時17分発、福島駅行きの鉄道が松川駅9時15分着となるが、松川駅で2分の乗り継ぎは難しいのではないか。

（委員）福島交通（株）

・運行距離が長くなり料金が上がっている。それに合わせて、乗車時間

も長くなっている。遠回りとなるので4号バイパスを通って欲しいとの意見もある。

- ・ダイヤに関しては、確かにかなり厳しい状況になっているので、この部分はもう少し時間の調整を考えたい。

(2) 協議

- ①令和8年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）の認定申請について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料4

- ・事務局より資料4に基づき説明

(会長)

- ・松川水原乗合タクシーは、以前からフィーダー補助の対象か。今回初めてか。

(事務局)

- ・既存のバス路線を県作成の利便増進計画に合わせて、路線バスと乗合タクシーの2つの形態に分けることにより、フィーダー補助の対象に初めてなる。

(会長)

- ・国補助が使えるならば有効に使っていきたいが、この乗合タクシーがどのような形で地域の皆さんに有効に使ってもらえるようにするか、特に集中して地域と議論していただきたい。

«全会一致で承認»

- ②西口循環バスの利用状況及び今後の対応について・・・・ 資料5

- ・事務局より資料5に基づき説明

(委員) 福島運輸支局

- ・アンケートで右回りの方が利用しやすい、右回りで運行して欲しいといったご意見があるが、具体的な理由はわかるか。
 - ・自治振興協議会の意見で、このバス路線の内側に住んでいる人が困っているとあるが、これはどういったことで困っているのか。

(事務局)

- ・ヨークタウン前の横断歩道を渡るのが大変だというお話から、右回りに出来ないかというご意見。運行上、難しかったため左回りルートになったといった経過がある。
 - ・野田町エリアの中心、ルートの中エリアの方が動けない、バス停まで行くことが大変という高齢の方が多く住んでいるというご意見。

(委員) 福島交通(株)

- ・西口循環を利用されている方の半数は、シルバーパスポートを利用されているという状況になっている。回数券やICカードも含めると、大体6割から7割位の方が、シルバーパスポートやIC回数券をご利用いただいている。

- ・実は何回か乗って観察しているが、福島駅から3人位乗ってきて電車を使っている雰囲気もない。どこから来られている方が把握しているか。

(事務局)

- ・聞き取り調査では、遠方から電車等を乗り継いで、地区内の須川診療所に通院している方が2人いた。また、メロディーバスへの乗車が目的の親子連れもいた。

(会長)

- ・今後の展開で短期的な対応と中長期的な対応とあるが、どのくらいのスパンで考えているか。

(事務局)

- ・短期的な対応は令和7年度内、中長期的な対応は令和8年度以降と考えている。野田町は路線バスが入れないような細い道が多いエリアであり、そういうところの移動の足を何とか確保できないかとう声を地域の方からいただいているので、そのあり方について今後いろいろ研究していきたい。

(会長)

- ・福島県内でもA.I.オンデマンド交通の導入が進みつつあり、打ち出の小づち的に聞こえるが必ずしもそうとは言い切れない。そこは地域の皆さんやこの協議会の皆さんからご意見をいただきながら、見極めていく必要がある。

«全会一致で承認»

③バリアフリー化設備等整備事業（福島市生活交通改善事業計画策定）について……………資料6

- ・事務局より資料6に基づき説明

«意見・質問等なし»

«全会一致で承認»

④福島県北圏域地域公共交通利便増進実施計画に基づくダイヤ改正案について……………資料7

- ・事務局より資料7に基づき説明

(会長)

- ・今回の6月11日に認定された、県の利便増進実施計画の中にすでに織り込まれているものという理解で良いか。

(事務局)

- ・その通り。

(会長)

- ・利便増進実施計画は、増便するだけではなく、仮にスリム化をする場

合でも、運行ダイヤを平準化させて最大待ち時間をできるだけ短くするというところも意図されているものなので、それをどういうところから読み取れるのか。

(委員) 福島交通㈱

- ・朝夕は基本的に今までのダイヤを調整しながらしっかりと利便性を確保し、日中、需要過多だった部分を45分の等間隔でスリム化することが今回実施する主な内容。
- ・月の輪経由梁川線、月の輪経由保原線を統合し、すべて梁川地区まで延伸することにより梁川地区の利便性を上げている。なおかつ、高子駅経由に運行経路を変更し、阿武隈急行との乗り継ぎができるようにすることにより利便性が上がる。

«全会一致で承認»

(3) その他

①「福島県県北圏域地域公共交通利便増進実施計画」の認定について

- ・事務局より情報共有

«意見・質問等なし»

②今後の取り組みについて(市の対応方針)

- ・事務局より説明

(会長)

- ・福島市は27万都市なので、都市としての公共交通、或いは都市としての魅力度いうところは、既存の定時定路線型が軸として非常に重要なってくる。
- ・市民の皆さんと対話を進めていくことは大事なので、進めていただきたいと思うが、ぜひ軸の部分ところについても、いろいろ考えいただきたい。

4 閉 会

**令和7年度 第1回
福島市地域公共交通活性化協議会
出席者名簿**

日時：令和7年6月26日（木）午後3時00分～
場所：福島市役所 複合棟312会議室

No.	団体・機関名	役 職	氏 名	出 欠
1	福島大学 前橋工科大学	教授・学長補佐 特任教授	吉田 樹	○
2	東日本旅客鉄道 株式会社 東北本部	福島支店 副長	蓮沼 哲也	○
3	阿武隈急行 株式会社	代表取締役専務	関場 智彦	○
4	福島交通 株式会社	鉄道部長	千葉 正人	○
5	福島交通 株式会社	福島支社長	久保 彰	【代理】 乗合営業課長 八巻 健 ほか随行1名
6	ジェイアールバス東北 株式会社	福島支店長	中鉢 芳彦	【代理】 課長 渡邊 善紀
7	有限会社 カネハチタクシー	代表取締役社長	関口 富美男	○
8	公益社団法人 福島県バス協会	専務理事	宍戸 紳一郎	○
9	福島県タクシー協会	県北支部長	大村 雅恵	欠席
10	福島地区タクシー協同組合	事務局長	安斎 浩	○
11	私鉄福島交通労働組合	福島支部長	国嶋 章	○
12	福島市町内会連合会	幹事	島津 新二郎	欠席
13	ふくこぶし福島（福島市老人クラブ連合会）	会長	鈴木 泰雄	○
14	ふくしま市女性団体連絡協議会	会長	小澤 和枝	○
15	社会福祉法人 福島市社会福祉協議会	常務理事	菊田 悟	○
16	国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所	副所長	岩渕 賢一	○
17	福島県県北建設事務所	管理課長	澤田 香	○
18	福島県福島警察署	交通第一課長	鈴木 秀樹	【代理】 交通第二係長 木幡 隆之
19	福島県福島北警察署	交通課長	恩田 武人	○
20	国土交通省 東北運輸局 福島運輸支局	首席運輸企画専門官	日脇 渚彩	○
21	福島県県北地方振興局	県民環境部長	菅野 智也	欠席
22	福島市	都市政策部長	紺野 文康	○
出席者 計				19